

◇ 輪之内町の基本理念 **未来に夢や希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育**  
**学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする**

**学校の教育目標 ひろい心をもち 豊かに表現できる子**

◇ 願う学校像 **「楽しい学校」**  
**今日が満足で、明日が楽しみな学校**  
**～ 笑顔・自信・やる気 ～**  
**Withコロナ：学校の新しい生活様式の徹底実践**

～ 温かく、明るく、元気で、安心・安全な学校だから、(児童が)行きたい、(教職員が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校 ～

◇ 学校課題

- ▼ 「学校の新しい生活様式」の徹底実践  
 安心・安全に関する意識の向上と環境づくり
- ▼ 自己肯定感と自己有用感、主体性の醸成
- ▼ 確かな学力を身に付けさせる学習指導の充実
- ▼ 主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動の推進
- ▼ 基本的な生活習慣の確立と自発的・自治的な集団づくり
- ▼ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の実効性ある運用

◇ 学校経営の方針(2)と重点項目(6)

○ 学校の教育目標の具現に徹する学校の経営

○ 一人一人のよさを引き出し、生かし、伸ばす意図的・継続的な指導・支援の推進

③安全教育(感染症対策) ①学級経営(心身のケア) ②学習指導(学びの保障) ④道徳教育 ⑤家庭・地域との連携 ⑥働き方改革

◇ 指導・支援の基本精神 **「ひたむきに取り組む姿を徹底して褒める」**

目指す児童の姿と具現の場・評価指標

◎豊かな表現力	◎ひろい心	◎たくましい心と体
<p>＜主体的に学び、仲間と高め合える子＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 効果的なICT、教科 web システムの活用  <b>タブレット端末、ZOOM等の有効活用</b></li> <li>○ 家庭学習の充実(「手引き」の活用、学年通信による啓発、課題の重点化)と読書の習慣化</li> <li>○ 「仁木小の授業はこれだ」を活用した授業の実施</li> <li>○ 学習の基盤としての言語能力と情報活用能力の育成</li> <li>○ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践</li> <li>○ 「学びのユニバーサル・デザイン」の実現</li> <li>○ 学び合う楽しさを実感できる算数科授業の実施</li> <li>○ 「聴く」「話す」「ノートづくり」指導の充実</li> <li>○ 本物体験の実施とゲストティーチャーの活用</li> </ul> <p>・国社算理の授業がよく分かる 92% (89.5)                      ・自分で計画を立てて勉強している 85% (76.7)                      ・進んで読書をしている 80% (77.6)</p>	<p>＜自己を見つめ、助け合える子＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ <b>教育相談の充実</b>(児童理解、いじめ・不登校・問題行動の未然防止)、情報共有、組織対応</li> <li>○ 「よいこと見つけ」の実施(全校統一したコーナー)</li> <li>◎ 自発的・自治的な集団づくりと創意工夫を生かした係活動・児童会活動の推進(合言葉は「一工夫」)                      児童会組織の変更</li> <li>○ 「挨拶・もくもく掃除」を柱とした校風づくり</li> <li>○ 「ふるさと・ふれあい学習」の充実(校区ふれあい運動会、コミュニティ・スクール・フェスタ(在宅取組)、総合的な学習、こ中交流)</li> <li>○ 考え議論する道徳、福祉・人権教育の推進</li> <li>○ 交流及び共同学習の推進</li> </ul> <p>・学校が楽しい 85% (81.9)                      ・自分にはよいところがある 82% (78.4)</p>	<p>＜運動に親しみ、みんなで遊べる子＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 危険予知・回避能力を高める安全指導の充実(感染症の知識、命を守る訓練、通学班指導)  <b>健康観察、「新しい生活様式」の徹底等</b></li> <li>◎ 家庭との連携による望ましい生活習慣の定着(毎日の検温と記録、早寝・早起き・朝ご飯、挨拶、手伝い、町情報モラル宣言遵守の推進)</li> <li>○ 体力・運動能力の向上(体育、休み時間等)  <b>= 激しい呼吸回避、分散中心</b></li> <li>○ 「みんなで遊べる子」にするための学級遊びの実施(教師も一緒) = <b>3密避けて</b></li> <li>○ 栄養教諭との連携による<b>給食指導</b>の充実</li> </ul> <p>・進んで外遊びをしている 93% (92.2)                      ・朝ご飯を毎日食べている 98% (96.6)                      ※ ( ) は昨年度</p>

<p>＜保護者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣 ・家庭学習習慣 ・読書習慣</li> <li>・躰 ・耐性 ・自然、文化体験 ・手伝い など</li> </ul>	<p>＜地域＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化 ・地域講師</li> <li>・登下校の見守り隊 ・スクールサポーターなど</li> </ul>	<p>＜関係諸機関＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委 ・こども園 ・町内小中学校 ・公共施設 など</li> </ul>
---	---	--

**地域住民総掛かりで心豊かな子どもを育てるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進**

学校評価 PDCAサイクルの確立  
 児童アンケート(12月)、教職員アンケート、保護者アンケート(12月)、学校関係者評価(2月)

◇ 教職員の構え

- ・子どもにとって値打ちがあるかどうかを意識した取組や指導、業務の効率化を進める。【45hを超える時間外勤務：0人を目指す】
- ・教師としての使命感ややりがいをもち、熱意、誠意、創意をもって児童の心に寄り添う。
- ・丁寧な教材研究や指導方法の工夫改善、課題をもった研修会への参加で自己研鑽に励む。
- ・高い人権意識、危機管理意識をもって教育活動にあたり、保護者や地域とのコミュニケーションを密にする。
- ・組織人として明るく支え合い、磨き合える教職員集団にする。“チーム仁木R3”